

～ 湘北地区の人口・世帯数 ～

地域	人口	世帯数
鶴が台一街区含む	4,838(- 84)	2,473(+ 12)
香風川	11,619(- 30)	4,578(+ 45)
松風台	1,516(- 6)	596(- 3)
甘風沼	5,329(- 10)	2,022(+ 11)
みずき	3,142(+ 71)	1,100(+ 23)
湘北地区	26,444(- 59)	10,769(+ 88)
茅ヶ崎市	236,899(+ 685)	96,208(+1,016)

・世帯:2013年8月1日現在 [()内は対前年比]



発行日 2013年10月1日
第41号
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 吉田 正一
 発行部数 9,000部

『湘北』は、毎年10月と3月に発行しております。

「湘北地区社会福祉協議会（湘北地区社協）」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

平成二十五年度に向けて

湘北地区社会福祉協議会

会長 吉田 正一



会長に就任してはや2年目を迎えました。総会議案書にも書きましたが、湘北社協の事業は、分科会活動を中心とする地区全体の活動、サロン活動を中心とする各地域の活動およびボランティアセンターにおける支援活動を三本の柱としており、昨年度はこれに沿って然るべき成果を挙げて来たと考えています。

さらに、従来の活動を推し進めながらその見直しや充実も図って行きたいと思っています。例えば、現在実施している各分野の活動に加えて「現在の

私達に出来ることは何か」を考えると、その一環だと思います。これは特に新しい事業を考えるのではなく、日常の業務でも改善や進歩を常に探って行くという程の意味です。

本年は第二期地域福祉（活動）計画の一環であるコーディネート配置事業がモデル事業としての最終年度を迎え、今秋には最終報告書案が示され、報告会が予定されています。モデル事業に携わって来られた関係者の方々に厚く感謝の意を表します。また、昨年度からは行政、自治会、社協を含む各種団体の連携を図った新たな地域コミュニティ「まちから協議会」のモデル事業が発足し、福祉活動もまた新しい時代を迎えたと言えます。この時期に当たり、皆様の変わりない御理解と御協力を願う次第です。

分科会活動テーマの報告とお知らせ

第7回 ボランティア入門講座

住み慣れたわが街、湘北地区のお役立ち情報満載で企画しました講座になっています。住民同志の助け合いの心を育て、優しく明るい街にしましょう。

11月8日、15日、22日、29日の4回で香川公民館で開催されます。4回出席しますと修了証が授与されますので人生の楽しみでもあります。お子様の保育もありませんから若い方も大歓迎です。ご応募をお待ちしております。

・申込み締切日…10月27日（日曜日）
 ・定員は25名で締切りです。お早めに申込み下さい。
 （代表・有元



第7回ボランティア入門講座

1日目：11月8日（金）10時00分～12時00分
 ・オリエンテーション
 ・講義「ボランティア活動とは」、講師「牧岡英夫先生」

2日目：11月15日（金）9時45分～12時15分
 ・体験学習（車イス、アイマスク、シニア体験）

3日目：11月22日（金）10時00分～12時00分
 ・地域活動の紹介

4日目：11月29日（金）10時00分～12時00分
 ・グループワーク（自分たちにできそうなこと）
 ・まとめ「牧岡英夫先生」

申込先：湘北地区ボランティアセンター [Tel.0467-27-2030]

公民館まつりにバザー出店

香川公民館まつりが10月26日（土）10月27日（日）の2日間開催されます。毎回地域の大勢の方々への参加があり大盛況です。

湘北地区社会福祉協議会は、10月26日（土）例年通りバザーを出店します。好評の綿菓子・ウーロン茶・コーヒール・カレーライス・水飴せんべい等です。出店に向けての準備は、バザー部会スタッフの中でも毎年担当しているベテランの人から今年初参加の新人まで、それぞれ商品別に分担し自分の出来ることを見つけて活動しています。又、6月2日（日）、7月7日（日）、9月7日（土）、10月19日（土）の4回の部会会議で計画され進捗が段段よくスムーズに行われています。

香川、甘風、松風台、鶴が台、鶴が台一、ライトタウン、みずきの部会担当者の努力を結集する事が湘北地区の社会福祉の底上げに繋がります。香川公民館まつりを成功裏に導くものと思います。みんなで地域の絆作りを盛り上げていきましょう。

大勢のお客様のご参加をお待ちしています。
 （書記・西村）



健康・福祉講座

平成25年度の健康福祉講座第1回は、茅ヶ崎市立香川公民館、湘北地区社会福祉協議会、湘北地区民生児童委員協議会との共催で、認知症理解講座を開催し、「認知症とは」「認知症の方への関わり方」等を学びました。

今回は、関係者間で何度も話し合いを行い、テーマを「認知症を正しく理解し地域で助け合い」とし、9月26日（土）平日の開催で申し込み制としました。講師は茅ヶ崎市社会福祉協議会の

地域福祉を考える懇談会

湘北地区では「地域福祉を考える懇談会」を平成18年度から始めて、今年で8年目を迎えます。

この地域で福祉にかかわる団体や関係者、活動グループが集まり交流し、情報交換をして、お互いの活動に役立てるようにし、地域の福祉に関する課題を見つけ、相互に取り組むことにより、みんながより安心して暮らせる地域をめざしています。

今年度もこれまでの経過をふまえて、第一回の懇談会を7月31日に開催し、市の福祉総務課と市社協なども参加しました。年内の懇談会の予定を9月18日・11月20日と決めました。

交流と懇談の他に、活動団体の一覧表を作り、昨年度はそれらの団体・グループを紹介する簡単な冊子を作ろうと準備しましたが、完成までは行かず、今年度引き続きまともに行っています。

平成21年度から私たちの街の現状を実際に体験し、問題点を発見し、解決への糸口を見つける活動として「まち探検」を開催し、香川、甘風台、昨年度は松風台で実施しました。一昨年から鶴が台中学の生徒達も参加しています。

今年度はみずき周辺で、「第五回まち探検」を12月8日（日）に予定して準備を進めます。
 （書記・佐川）

- 広報分科会**
- 澄川 篤 (代表・甘沼)
 - 中山七恵 (香川)
 - 田中京子 (香川)
 - 田井精一 (甘沼)
 - 衛藤正視 (甘沼)
 - 中野親恵 (松風台)
 - 森井香代子 (鶴が台)
 - 内野義生 (ライトタウン)
 - 宮村茂樹 (みずき)

湘北地区ボランティアセンター 設立10周年記念特集

皆様とともに10周年

ボランティアセンターの設立 センター長 有元 佳子



湘北地区ボランティアセンターは今年9月21日で満10年を迎えることができました。地区社会福祉協議会をはじめ、市行政および市社協のご指導・ご協力の賜物と深く感謝しております。

思えば平成15年9月21日、香川公民館での設立総会を行い、民間の小さなアパートの一室から第一歩を踏み出したのでした。

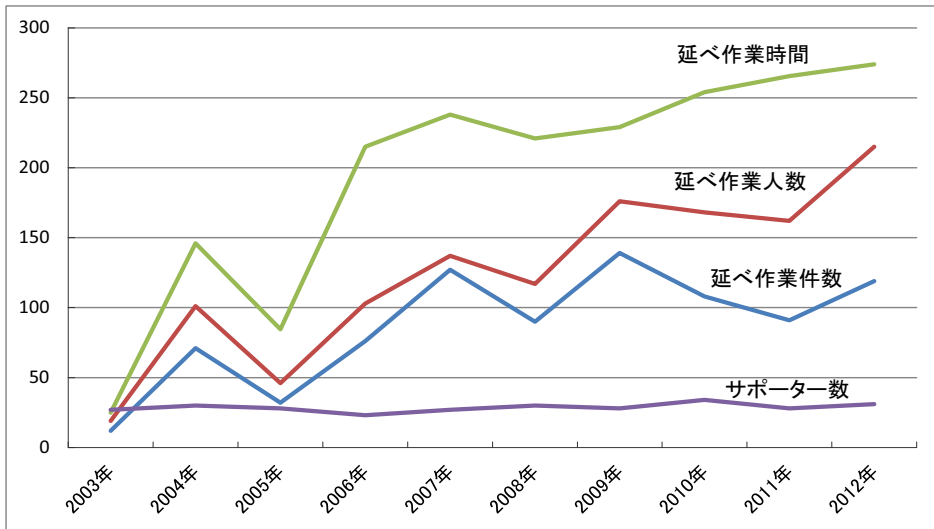
ふりかえれば平成15年5月の地区社協の総会でボランティアセンターの設立が承認され、準備が始まりました。当時の地区社協会長はじめ役員の方々、元・現民生委員、ボランティア経験者達の精力的な活動により、短期間のうちに運営規定、組織づくりがなされ、活動マニュアル、ボランティアの登録、会議や研修会の実施等活動の実務的な整備が着々と進みました。「小さく生んで大きく育てよう」というスローガンのもと「生活支援活動」



現在のボランティアセンター
香川2-18-17
(平成21年1月に移転)

生活支援件数、人数、時間の推移

西 暦	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
延べ作業件数	12	71	32	76	127	90	139	108	91	119
延べ作業人数	19	101	46	103	137	117	176	168	162	215
延べ作業時間	25	146	84.5	215	238	221	229	254	265.5	274
サポーター数	27	30	28	23	27	30	28	34	28	31



敬愛訪問、ほっとラインの利用者数

西 暦	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
敬愛訪問	—	1件	2件	3件	2件	2件	1件	1件	1件	1件
ほっとライン	—	—	—	—	4件	4件	3件	3件	2件	2件

市社協補助金、湘北社協補助金、民児協補助金の推移

西 暦	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
市社協補助金	187,000	237,000	237,000	237,000	357,000	357,000	357,000	357,000	357,000	357,000
湘北地区社協補助金	50,000	65,000	50,000	50,000	20,000	20,000	0	0	0	0
湘北地区民児協協力金	—	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
モデル事業補助金	—	—	—	—	—	—	—	90,000	90,000	90,000
サロン補助金	—	—	—	—	—	—	—	—	15,000	15,000

からスタートしました。財源は市社協および地区社協から補助金をいただき運営することが出来、また利用料の設定につきましても各方面からのご意見等を参考に有料(1時間500円)としました。湘北地区も人口の高齢化と少子化現象の状況の中で住民同士の支え合い活動が必要となってきました。ボランティアセンターは日常の生活で「ちよつとした困りごと」を相談し援助の手をさしのべることが出来る福祉の拠点で

す。10年という月日の中で地域の方々もボランティアセンターの存在を知ってご利用される方もだんだん増えてきました。草取りを希望されて、1時間で見える見る綺麗になっていく庭を見て「こんな制度があつたなんて」と喜んでください。安心した生活、人が助け合える優しい社会を目指してボランティアセンターは活動を続けてまいります。



庭の草取りボランティア作業

ボランティアセンターの 活動内容

- ・生活支援内容
草取り、低木の刈り込み、家具の移動、粗大ゴミ出し、買い物代行、家事援助、水道パッキン・蛍光灯のとりかえ等
- ・話し相手(敬愛訪問)
独居高齢者の方々を訪問し、孤独感をやわらげ安心して生活ができるよう話し相手になります。
- ・お元氣ですかコール(ほっとライン)
病気や障害等でお体に不安のある独居高齢者の方々に1週間に1回(毎週金曜日)お電話をして見守りを行います。



“憩いの場” コミュニティサロン

・コミュニティサロン
「毎月第1金曜日午後1〜3時」
湘北地区の皆様のごいこの場として、コーヒー紅茶等(1杯50円)を飲みながら楽しい語りや、季節ごとのイベント、そして懐かしい歌の数々を皆で歌って心の栄養を補給します。

これからの課題

ボランティアセンターが湘北の皆様への心のより処として続いていく為の大切な事として

①ボランティアをして下さる「サポーター」が不足しています。自分の出来る事を登録し困っている人の役に立てれば嬉しいことです。それが自分の喜びになり絆が生まれます。人生を楽しく老後を生きて暮らしましょう。

②私達が生活していく過程には思わぬことがおこります。ボランティアセンターでは「福祉何でも相談」を行っています。毎月第2火曜日10時〜12時ですが、それ以外でも留守電に入れて下されば、後ほど対応します。個人情報厳守しますので、安心下さい。何かでお困りの方は遠慮なくボランティアセンターに先ずご相談ください。納得いただいた上でお力になりたいとボランティアセンターの担当者は考えています。